

Clinical Trials 2

福島 聡 Satoshi Fukushima 熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野 講師

進行期メラノーマに対するニボルマブとイピリムマブの計画的順序投与 (CheckMate 064) : オープンラベル, ランダム化第Ⅱ相試験

Sequential administration of nivolumab and ipilimumab with a planned switch in patients with advanced melanoma (CheckMate 064) : an open-label, randomised, phase 2 trial.

Weber JS, Gibney G, Sullivan RJ, et al. Lancet Oncol. 2016 ; 17 : 943–55.

SUMMARY

背景

悪性黒色腫(メラノーマ)患者に対し, 免疫チェックポイント阻害剤であるニボルマブとイピリムマブを併用すると, 有害事象のgradeが高くなるものの, いずれかを単剤投与した場合より効果が高いことが示されている. われわれは, ニボルマブのあとにイピリムマブまたはこの逆を順次投与すると, 有効性を損なわずに安全性を改善することができるかどうかを評価した.

方法・結果は本文を参照

解釈

ニボルマブのあとにイピリムマブを投与すると, その逆よりも有害事象発生が多いものの, 臨床効果が高いようにみえる.

SAMPLE